

新山協ニュース

▲ 発行者 鈴木敏雄

▲ 発行所 新潟県山岳協会

〒940 長岡市学校町1-12-23

室賀輝男方 TEL 0258-32-0428

協会創立40周年記念事業・中国の旅 その2

中国管見 ①

上野 壽 一

中国へ2度目の旅をしてきた。この前は、昭和54年9月16日から29日まで、今回は、新潟県山岳協会40周年記念の中国東北部視察と長白山登山隊の一員としてである。8月17日から26日までの旅であった。

以下、今回の旅行の印象を、前回のことも思い浮かべながら備忘しておく。

一、政治的から経済的へ

8年前の時は、市街に入ると、家の壁や塀に「毛沢東万歳」「中国共産党万歳」などの政治的標語が氾濫していたが、今度は殆ど見当たらない。寧ろ標語の類が余り目に入らなくなると言った方が良くかもしれない。「中国共産党万歳」の如き標語は僅かに天安門で2、3眼にしたにとどまる。一般に街なかでは、工場や事業所の門の脇の塀に、能率や安全についての標語が

目に立つ。政治的標語から経済的なそれへ。中国では政治的統一と政権確立の時代が終り、今や経済的自立と発展を第一に考える時代に移ったのであろうか。

二、女性の服装

前には女性と雖も人民服一色であった。観光地で稀に見るスカートは、華僑であった。前に回らないと男女の見分けがつかない人民服の行列が、今度は変わっていた。華やかな色彩、大胆な柄、そしてパーマネットと化粧。目を見張るほど女性が美しくなっていた。中国には大体スラリとした八頭身の美人が多いのは、腰掛けの生活によるものであろうが、小麦色の肌はいかにも健康的である。人民服の「統制」から、服装の「自由化」へ。ここにも8年間の中国の変化がある。おそらくこの変化は「進歩」と見てよい

ものであるが、少なくとも、「人間」尊重へ政治が大きく転回したことの証左とみてよいのではなからうか。

色柄の自由化が進むなかで、すれ違ふ人達を間近に見、また北京のデパートで見た衣服の素材は所詮化学繊維の類でなからうか。貧しいものである。ここに、自由化を支える経済レベルの低さがあるように思う。

東北で聞いたところでは、平均的な勤労者の月収は日本円で4000円位だという。経済発展志向と自由化は相伴うものであるが、然しそのことは共産主義とはどう関係するのであろうか。ここにも中国のひとつの問題があるように思う。そしてさらに、服装の自由化を実際に身につけているのが若い人達であることから、世代間の軋轢はないものかとも思う。

三、同文同種というけれど
前よりも簡体字(略字)が多くなったのではなからうか。沈陽(瀋陽) 幼凡園(兒) 産(産業) 边界綫(境界線) 各種(種) 大庆职工(大慶職工) など街のなかの標示や看板から拾ったものである。よく見れば或程度見当のつくものもあるが、云(雲) 应(応) 开(開) 汉(漢) 归(帰) 广(広) 杂(雜) 图(圖) など はちょっと分からない。込(達) 龙(龍) 头(頭) といったのは、想像することも難しい。これら簡体字が、従来の漢字に混ざって使われているので三割か四割位は読めない字が混ざることになる。同文というけれど、七割同文であり六割同文である。

四、一人子政策のその後
これは通訳の話である。一人子政策は、これを今後も継続するかどうか検討中だという。
前にきた時は、十億の民を有する中国として、人口の爆発的增加を懸念して一人子政策を国家的規模で取り上げ、



が薄く残っていた。

五、車は右側交通

車は総て右側交通である。従って左ハンドルである。トヨタやニッサンの日本車が多く見られたが、これらは総て左ハンドルである。都市の内부는勿論、郊外でも今回事務は幹線は舗装されていた。然し、農村をつなぐ道は無論未舗装で、雨のあとなどはひどい泥濘であった。沈陽郊外の千山へ行く時である。沈大公路(瀋陽大連国道)は中央分離帯のある片側二車線で、その外側はかなり広い二輪車道路が区分されている。この国道を吾々のバスは1000料を越えるスピードで鞍山まで走った。聞くところによれば、沈大間、沈陽から鞍山までが完成していて、その先は、工事中の由であった。この高速自動車道は、私にとって初めての経験であった。

六、人民公社

8年前の訪中の際は、沈陽の「五三人民公社」を見学した。この公社は作家の有吉佐

和子も訪れていて、その記録が、昭和54年3月新潮社刊の「有吉佐和子の中国レポート」にも入っている。五三人民公社は蔬菜中心の経営をしていたが、共同生産方式と自留地制度をもつ人民公社はその後どうなっているのだろうか。

これは私の今回の旅中の関心のひとつであった。北京から沈陽への長い汽車旅の時間に、当年21歳という通訳にこのことを聞いてみるが、あまり要領を得ない。人民公社とは言わないで郷鎮制度だという。或は人民公社というものの変化が起きているのかも知れないと思いつながら、もうひとつはつきりしない。突込んで聞いてみても分からないという。その後旅中は、次々と場面も変わって、人民公社のことは、いつしか思考の外に置かれたまま帰国した。ところが、9月10日付の日本経済新聞の経済教室に、小倉武一氏が「改革進む中国の農業制度」という標題で、農村を視察し、当局にその考え方を聞いた結果をまとめた論文を発表された。これによって、人民公社のそ

の後を次のごとく知ることができたので、簡記しておく。(1)人民公社は農業改革により解体、郷鎮(日本の町村)

というものは、国民経済のなかでどう理解すればよいのだろうか。

もう一つ、前回とは異なるの段階で、その労働力に依りて農民に農地を配分する。今回は、農村をバスで走ることが多かったが、途中トラクターがトレーラーを引く売り渡す契約をする。

農村風景は、トラクターである。今回は、農村をバスで走ることが多かったが、途中トラクターがトレーラーを引くのをよく見かけた。どの程度の普及なのか、トラクターの所有は個人なのか、郷鎮の委員かなのか知るすべもなかったが、建設工事に、農作業の運搬に、トラクターが動くのは、もはや普通の情景のようである。大きな変わり方というべきである。

(2)配分された農地で耕作者は請負生産し、一定量を国に売り渡す契約をする。

この制度で、国へ納めるものを越える生産物は、一般に都市で自由に売却される。所詮自由市場である。通訳によれば、自由市場は国营市場と異なって①時間の制限がない

(3)契約量を越える部分の処分は農家の自由である。

②価格は高いけれども③品質が良い、ということだ。繁昌しているという。然しこういう二重市場制度、一物二価制度

(4)人民公社時代の生産大隊の施設は、村民委員会(村)に移管され、機械サービスステーションとか、加工サービスステーションその他として生きていて、農村の余剰労働力を吸収している。

要するに、人民公社の共同生産方式から、郷鎮の請負制度に変わったのである。

七、長白山

今回の旅行の目玉は長白山登高である。8月21日早朝5時20分長白山の入口である白河駅に着いた。前日、朝の6時30分沈陽駅を出て、海龍から南下して通化着が午後5時10分。通化市内の葡萄酒工場を見学して夕食の後、夜9時2分発の白河行軟座車が、8時間余で漸く白河駅に着いたのである。白河は雨である。プラットホームから外れて停

登高である。8月21日早朝5時20分長白山の入口である白河駅に着いた。前日、朝の6時30分沈陽駅を出て、海龍から南下して通化着が午後5時10分。通化市内の葡萄酒工場を見学して夕食の後、夜9時2分発の白河行軟座車が、8時間余で漸く白河駅に着いたのである。白河は雨である。プラットホームから外れて停

またた列車から夫々荷物を持って降りる。しばらくして迎えるバスで出発する。途中「吉林省長白山自然保護区管理局白山管理站」という事務所で入山の届けをして入山料を払う。一人二元の由。そこで漸く道路のバーを揚げて貫って通行できる仕組みである。白河を出てから2時間余で、長白山登山基地の岳樺賓館（だけかんばんホテル）に到着。7時40分である。朝食をして、長白瀧の見学に出掛ける。瀧は長白山の火口潮の天池から流れ出る水が落ちる68mの壮大なものである。小雨の中で往復である。ホテルへの帰途、入浴料三元で温泉に入る。午後は愈々長白山である。1時50分ホテルをジープに分乗して出発、ゴツゴツの岩道を50分で頂上直下である。雨とガスで全く視界はきかない。その中を先行く人のおぼろな背について登る。岩の崩れたザラザラ道で、植生は何も無い。約10分で頂上である。然し何も見えない。まあ、これで長白山の土を踏んだという僅かな満足感に自分を慰めて



またたジープで下山する。帰ったホテルの部屋は寒く、シャツの重ね着をしてベットに入る。寝台の裾近くに雨漏りがする。通訳によると、長白山という山名は元代以後で、その前は白頭山と呼ばれていたという。翌21日の早朝出発前にもう一度登ることに決って夕食を終る。21日は昨日と変わって快晴である。ジープの登り時間も40分と昨日より短い。今日は四方視界が広げ、雲海も朝日に輝いている。天池は水深200mの火口湖で生物は居ない。これを取り巻いて恐龍の背のような岩の突起が続く。

吾々の登ったピークもその突起のひとつで2700mだという。天池を取り巻く岩の突起の朝鮮側までも望見できる。深く湛えられ、蒼く静まりかえっている天池、これを取り巻いて続く岩山の尖頭。何か魔性の気配を感じて肅然とする。日本の山とは異なる風光に一種の恐怖感さえ覚える。この山も頂上近くは苔原であり山麓のホテル近くは岳樺（だけかんばん）の原生林である。その林床に石楠花が密生し、鳥兜の群落もある。二度目の登高が快晴であったことはまことに幸せであった。右に書いたように長白山が簡単に行けることが一般に知れば、今回は吾々のチームだけだったが、大いに外国人観光客が増えることであろう。それに備えて、中国側では先に訪れた「管理站」の近くにホテルの建設に取りかかったところであり、ここからヘリコプターで観光客を運ぶことになるそうである。なお白河の長白山自然博物館は、規模は小さいが学習に便利な陳列で、大いに参考になった。

八、ハルビン

ハルビンは、私にとって始めての街である。白系ロシア人の街、帝制ロシアの文化遺産の街というイメージは、北に咲く紅い花のように思われ、私の憧れ心をかき立てた。ハルビン滞在の自由時間が少なかったせい、この私のイメージは壊れ、私の憧れ心は満たされずに終わった。ロシア正教の寺院でも見学すれば、或は印象も違ったかも知れないが、私の知っている中国人街と、どこが違うのだろうかという思いで、ハルビンを去らざるを得なかった。松花江の船上遊覧も行われたが、水の濁って汚いこと、雨の中のこの河で水浴や水遊びする人が多いのは驚いた。もうひとつハルビンでは、しゅう雨がしたが、その後、街の所々に路上に水が溢れ、大水の景況を呈していたのに驚いたことである。

われらが仲間達 (2)

五 泉 山 の 会

1. 責任者 吉井輝吉
 2. 創部 昭和33年8月6日
 3. 会員 18名(62年9月現在)
 4. 昭和62年度会行事(一般登山者を対象に)
 - (1) 5月24日 五頭連峰縦走(松平山一峰)
 - (2) 6月14日 二王子岳
 - (3) 7月18・19日 谷川連峰縦走(白毛門朝日岳)
 - (4) 9月13日 月山
 - (5) 10月4日 菩提寺山(五泉市民総合体育大会)
 - (6) 11月3日 諏訪峠
 - (7) 12月6日 大峰山(ザイル納め)(会員のみ)
 - (8) 菅名岳(会員のみ)
 5. 事務局(連絡先) 千959-16
 6. 活動 五泉市三本木2-4-1 権平 松男 ☎0250-4210955
- 当会は、一般登山者を対象

に、年間5回〜6回、市民登山と銘打って、会行事を行ってあります。又、昭和33年に発足以来、記録の保存と云う意味も含めて、第1号から年間誌「五泉山の会」会報を、会員の協力で発行し続けて来ています。これは手作り出版です。毎回、一部を市の図書館に寄贈し、喜ばれております。まもなく創部30周年になろうとしている当山の会では、今後さらに登山の底辺拡大と、地域に根ざした活動を通じて、会の発展を図っていききたいと思いません。

親睦登山 櫛形山脈観桜会 の御案内

天然記念物の山桜を眺めながら、日本一小さい山脈の最高峰櫛形山へ。
日時 昭和63年4月28日(木) 29日(金) 祝日
集合場所 北蒲原郡加治川村 住田 老人憩いの家七葉苑



受付 28日18時より

山名 日本一小さい山脈櫛形山脈(大峰山、櫛形山)

装備 春山日帰り装備、雨具、水筒、昼食、乾杯酒必携

宿泊用具 寝具を各自持参
会費 2000円 宿舎謝礼、酒の肴、事務通信費他

日程 28日19時より懇親会
22時就寝

29日 8時宿舎出発、寺沢林道より入山、大峰山を経

て櫛形山山頂にて昼食、法印滝コースを下山。

その他 懇親会用に地元正宗を持参願います。

担当 加治川山の会

申込 北蒲原郡加治川村住田

547番地の1

加治川村中央公民館

加治川山の会事務局まで。

☎0254-13312433

自然保護指導員会

からのお願い

◎ 2月27日新潟で理事会開催。評議員会の準備と、行事会計の中間報告が行われました。22名出席。

あとがき

先般の理事会にて、ご承認を得たのでありますが、現在自然保護指導員会は日本山岳協会の保護指導員を中心に活動しております。他に協会推薦環境庁委嘱の自然公園指導員が32名おられます。勿論その方々にも今迄研修会のご案内を個々に郵送しておいた訳でもあり、今後の活動を含め、環境庁関係の指導員の方々からも理事会において現行の自然保護指導員会会費を頂き、一緒に県山協会の自然保護指導員の行事に同調協力して頂く事になりましたので、該当者の方々のご認識とご協力を、

◎ ニュースにも載りました

◎ 親睦登山の時期を早くし

◎ 日本一小さい櫛形山脈で、日本一立派な桜見学を企画しました。山岳会の絆を強める為にも多数の参加を!

◎ 山岳保険、日山協山岳遭難共済(年間7920円)と

スポーツ安全保険(ハイキング1050円、山岳登攀1790円)の案内が事務局に届いております。新規加入、継続加入を忘れずに!

◎ 国体県予選会、5月8日、笹神村五頭山塊で実施します。詳細は後日各団体宛送付します。

会費納入の連絡と共にお願い申し上げます。
(年間会費2000円)
自然保護指導員長
石田 国夫

教習種目 大型・普通(第1種)大特
自二輪・身障者用各種自動車

中条自動車学校

北蒲原郡中条町大字高野字茨島

中条 (0254) 44-8071

社長 高野 愛子

読書は万能の基

新潟市営所通1-301

学生書房

電話 025-222-9870番

県内の山開き状況

山名	標高	所在地	山開き要項	集合場所など	照会先	備考
駒ヶ岳	1,487	糸魚川市	6月26日(日)午前8時 安全祈願祭後登山	海川第一発電所集合	勤労者山岳会 0255-52-1839	6月最終(日)
雨飾山	1,963	"	7月2日(土)午後2時 安全祈願祭	根知山寺日吉神社前 集合(温泉に1泊、 翌朝登山)	根知公民館 0255-58-2006	7月第1(土)~ (日)
鉢ヶ岳	1,316	"	7月3日(日)午前8時 安全祈願祭後登山	林業集会センター集 合	上早川公民館 0255-59-2002	7月第1
総合山開き		"	6月18日(土)午前11時 安全祈願祭	蓮華キャンプ場集合	市商工観光課 0255-52-1511	
明星山	1,188	"	6月12日(日)午前8時 安全祈願祭後登山	小滝公民館集合	小滝公民館 0255-56-2002	6月第2(日)
鉢ヶ岳	1,316	能生町	6月26日(日)午前8時	柵口登山口集合 (記念登山は未定)	能生町公民館 0255-66-3111	
権現岳	1,100		安全祈願祭			
妙高山	2,446	妙高村	7月1日午前0時登山開始	燕温泉集合、前日午 後11時半より安全祈 願祭	村観光協会 0255-82-3744	毎年7月1日
火打山	2,462	妙高 高原町	6月1日午前8時 高谷池で祈願祭		町観光協会 0255-86-3131	毎年6月1日
黒姫山	889	高柳町	6月5日(日)午前8時	白倉口 岡田集落セ ンター集合	町経済課 0257-41-2233	} 6月第1(日)
			6月5日(日)午前8時 30分	磯之辺口 町民総合 センター集合	" "	
菱ヶ岳	1,129	安塚町	7月3日(日) 午前中登山	菱ヶ岳グリーンパー ク集合	町総務課 02559-2-2003	
米山	993	柏崎市	6月5日(日)午前7時 安全祈願祭	JR米山駅前集合 自由登山	市商工観光課 0257-23-5111	6月第1(日)
守門岳	1,538	守門村	6月19日(日)午前7時 40分 安全祈願祭後 登山	二分自然休養村管理 所集合	村観光協会 02579-7-2311	
		入広瀬村	6月26日(日)午前6時 35分 安全祈願祭後 登山	大白川駅前集合	村観光協会 02579-6-2311	
		栃尾市	6月5日(日)午前6時	栃堀口と入塩川口よ り登山 頂上で祈願 祭	市商工観光課 0258-52-2151	前夜祭有
浅草岳	1,586	入広瀬村	6月26日(日)午前6時 35分 安全祈願祭後 登山	大白川駅前集合	村観光協会 02579-6-2311	6月最終(日)
駒ヶ岳	2,003	湯之谷村	6月26日(日)午前6時 15分 登山開始	登山口集合	村産業観光課 02579-2-1122	6月最終(日)
荒沢岳	1,969	"	6月26日(日)午前6時 45分 登山開始	"	" "	"
権現堂山	998	広神村	6月5日(日)午前6時 45分 登山開始	戸隠神社集合	村観光協会 02579-9-3111	6月第1(日)
平ガ岳	2,139	湯之谷村	7月2日(土)~3日(日) 予定	鷹ノ巣温泉集合	村産業観光課 02579-2-1122	7月第1(土)~ (日)
金城山	1,367	六日町	6月26日 安全祈願祭	大倉集落集合	町観光協会 0257-72-7171	

山名	標高	所在地	山開き要項	集合場所など	照会先	備考
中ノ岳	2,085	六日町	6月26日(日)午後2時 安全祈願祭	十字峡落合里中集合	奥五十沢観光協会 0257-74-2608	
丹後山	1,809					
兎岳	1,925					
八海山	1,778	六日町	7月1日(金)午前10時 安全祈願祭	城内口里宮神社集合 記念登山は6月26日(日)	八海会館 0257-75-2693	
		大和町	"	大崎八海山尊神社集 合記念登山は翌早朝	町観光協会 0257-77-3054	
巻機山	1,962	六日町	5月22日(日)			5月第4(日)
裏巻機山	1,962	"	7月 日	キャンプ場集合	裏巻機観光協会 0257-74-2415	
谷川連峰		湯沢町 水上町	7月3日(日)	土合と土樽で祈願祭		7月第1(日)
東山連峰		長岡市	4月17日(日)	城山、森立、火打沢 コース	市レクリエーション課 0258-35-1122	毎年4月第3 (日)
飯豊連峰			6月末か7月第1週 の(土)	大日岳、頼母木、大 石、門内(胎内口、 湯ノ平口)	下越山岳会 0254-22-2928	
二王子岳	1,421	新発田市	5月22日(日)			
御神楽岳	1,386	上川村	6月5日(日)午前5時 登山開始	前日午後2時 蟬部 落神社前で祈願祭	村産業課 02549-5-2211	前夜祭有
国上山	313	分水町	4月3日(日)			
白山	1,012	村松町	"			4月第1(日)
角田山	482	巻町	4月10日(日)			4月第2(日)
菅名岳	909	五泉市	4月24日(日)		菅名山岳会 0250-42-5063	
粟ヶ岳七谷口	1,293	加茂市	4月29日 天皇誕生日			
" 下田口	1,293	"	5月5日 こどもの日			
五頭山	873	笹神村	5月3日 憲法記念日		笹神村うすゆき山の会 0250-63-8264	毎年5月3日
裏五頭山	873	三川村	5月22日(日)	登山口で祈願祭		
日本国山	555	山北町	5月5日 こどもの日	"	山北町役場 0254-77-3111	毎年5月5日
宝珠山	564	安田町	5月15日(日)	草水口	安田町役場 0250-68-3000	5月第3(日)
御前ヶ嶽窟		津川町	6月19日(日)			
ドンデン山		両津市	6月中旬	大佐渡ロッジで	市商工観光課 02592-7-2111	
鋸山	765	長岡市	4月17日(日)		長岡ハイキングクラブ 0258-32-0428	4月第3(日)
青田南葉山	945	高田	6月5日(日)		高田ハイキングクラブ 0255-24-7215	6月第1(日)
弥彦山 提灯登山		弥彦村	7月25日	頂上で祈願祭 4時 下山開始		毎年7月25日
角田山 "		巻町	8月 日			